

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

Corynebacterium striatum菌血症38例の臨床的特徴

2. 研究の対象患者

旭中央病院で採取された血液培養からCorynebacterium striatumを検出し、以下の選択基準を全て満たし、除外基準のいずれにも該当しない方

1. 選択基準

- 1) 血液培養でCorynebacterium striatumを2セットから検出した方
- 2) 臨床的にも同菌による感染症と判断された方
- 3) 性別不問

2. 除外基準

- 1) 血液培養でCorynebacterium striatumを1セットのみから検出した方
- 2) 研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した方

3. 研究の対象期間

2014年1月1日～2023年12月31日

4. 研究の概要

近年Corynebacterium striatum(以下C. striatum)の病原性が注目されている。C. striatumはヒトの皮膚や粘膜に常在する病原性の低いグラム陽性桿菌である。培養から検出された場合コンタミネーションとして判断されることもあるが、長期入院患者・免疫不全患者には菌交代症や日和見感染を起こすとの報告がある。また、抗菌薬感受性も多剤耐性傾向にあるという報告もあり、本菌による院内感染が懸念されている。当院ではC. striatumによる真の菌血症が増加しており、本菌による関節炎や感染性心内膜炎例も散見されることから、本研究はC. striatum菌血症の臨床的特徴について後ろ向きに検討し、患者の早期治療につなげることを目的として研究を計画した。

5. 研究実施予定期間

2024年9月18日～2025年1月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：年齢、性別、入院期間、併存疾患、既往歴、手術歴、感染症名、薬歴（抗菌薬、免疫抑制剤、化学療法）、血液培養以外の部位からの本菌検出例、酵母様真菌合併例、診断名、グラム染色結果、培養結果、死亡例

〔薬剤感受性〕：PCG、MIPIC、ABPC、ABPC/SBT、CEZ、CFX、IPM/CS、AMK、GM、ABK、GM_2、EM、CLDM、MINO、VCM、TEIC、DAP、LVFX、ST、LZD、MUP_H

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後ろ向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：中央検査科 太田 祐加

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)